

サレジオ家族 合同評議会

すすんで仕える者になろう

～この人の言うことを何でもしなさい～

(ヨハネ2:5)



Do whatever he tells you
BELIEVERS, FREE TO SERVE



ストレンナ特設サイトQRコード



ストレンナ サレジオ家族 年報目録

STRENNA 2026

サレジオ会副総長 ファビオ・アッタールド神父



2026.1.8
サレジオ神学院

【参加者名簿】

<p>ドン・ボスコ女子在俗会 (VDB)</p> <p>中島 千恵子 代表</p> <p>扶助者聖マリアの会 (ADMA)</p> <p>藤永 悦子</p> <p>木村 悟</p> <p>小野 久美子</p> <p>サレジオ同窓会日本連合 (EXDB)</p> <p>奥山勇人 副会長</p> <p>扶助者聖母会同窓生日本管区連合 (EXFMA)</p> <p>宗 映子 顧問・会長補佐</p> <p>稲越 美保 会計担当</p> <p>サレジアン・シスターズ (FMA)</p> <p>宮脇 道子 管区長</p> <p>川下 和子 副管区長</p> <p>内田 泉 評議員</p> <p>小島 理恵 評議員</p> <p>永瀬 あゆみ 評議員</p> <p>吉田 百合子 評議員</p> <p>中島 千嘉子 管区財務</p> <p>GAMBATO Marisa 管区秘書</p>	<p>イエスのカリタス修道女会 (SCG)</p> <p>宮脇 京子 管区長</p> <p>川端 静子 副管区長</p> <p>松本 豊子 養成担当</p> <p>浜崎 昌子 宣教担当</p> <p>長崎 春美 福祉事業担当</p> <p>山崎 妙子 教育事業担当</p> <p>木村 礼美 財務担当</p> <p>田口 綾子 管区秘書</p> <p>サレジアニ・コオペラトリー (ASC)</p> <p>佐藤 栄利子 管区コーディネーター</p> <p>樽谷 企美子 評議員</p> <p>サレジオ修道会 (SDB)</p> <p>濱崎 敦 管区長</p> <p>中田 正一郎 副管区長・SF デレゲート</p> <p>須藤 哲史 管区財務</p> <p>春山 ミカエルラップ^o 評議員</p> <p>浦田 慎二郎 評議員</p> <p>小島 知博 評議員</p> <p>三島 心 評議員・EXDB デレゲート</p> <p>松尾 貢 評議員</p> <p>濱邊 正 管区秘書</p>
--	--

【時間割】

時間	内容	場所	担当
14:00	濱崎管区長祈り、あいさつ グループごと自己紹介（管区長、代表者から）	会議室	中田
14:25	今年度の活動の振り返り（各グループごと4分ずつ） 1. サレジアン・シスターズ 2. イエスのカリタス修道会 3. サレジアニ・コオペラトリー 4. ADMA 5. サレジオ同窓会日本連合 6. ウニオーネ本部（FMA 同窓生日本管区連合） 7. VDB 8. サレジオ会	会議室	中田
15:05	総長によるストレンナ 2026 解説ビデオ	会議室	岡本
15:25	ストレンナ 2026 のポスター紹介	会議室	岡本
15:30	お知らせ（霊性週間、来日 100 周年について、他） 分かち合いの説明（テーマ、グループ、場所など）		中田
15:45	休憩		
15:55	分かち合い（グループワーク） テーマ：アンケートに基づいて	指定された 部屋	
16:40	全体会	会議室	中田
17:00	晩の祈り（ベネディクション） サレジオ会同窓会連合代表によるボナノッテ	神学院聖堂	中田
17:30	軽食	1 階会議室	SDB
18:00	終了、解散		

【お知らせ】

「EAO サレジオ霊性の日」の YouTube リンク

- 1 日目：https://youtu.be/U_Jv0wLC-7E →



- 2 日目：https://youtu.be/_tqTlTBStpY →→→→→→→→→



【分かち合いグループ】（15：55～16：40）

グループ 1	
SDB	三島◎
SDB	濱邊○
FMA	宮脇道
SCG	田口
SCG	川端
ExFMA	稲越
VDB	中島千恵

グループ 2	
SDB	浦田
SDB	須藤○
FMA	川下◎
SCG	長崎
SCG	浜崎
ExFMA	宗

グループ 3	
SDB	濱崎◎
FMA	小島理
FMA	中島千嘉
SCG	山崎○
ASC	佐藤
ADMA	木村悟

グループ 4	
SDB	春山
FMA	永瀬
FMA	吉田◎
SCG	松本○
SCG	木村礼
ExDB	奥山
ADMA	藤永

グループ 5	
SDB	松尾
SDB	小島知◎
FMA	内田○
FMA	ガンバー ト
SCG	宮脇京
ASC	樽谷
ADMA	小野

【分かち合いの場所】

グループ 1：2 階会議室

グループ 2：2 階オアシス（テレビ室）

グループ 3：1 階手前応接室

グループ 4：1 階奥応接室

グループ 5：1 階会議室

【分かち合いのテーマ】

1. サレジオ家族のアンケートについての分かち合い（希望、課題や不安など）
2. 日本においてサレジオ家族はどのような課題に力を入れるべきか

FMA 2025 報告

総会3年目のVERIFICA 2025年2月9日～13日フィリピン



CIAO東アジア管区協議会の各管区より管区長、シスターズ代表、ミッションパートナー代表、若者代表の60名が参加。

このヴェリフィカの目的は、総会のあとの歩みがどのように実施されているかを評価し、次回の第25回総会のテーマの指針を提供すること。会議はシノドス的かつ体験的なスタイルで行われ、神の言葉と歴史の新たな訴えに照らして、傾聴と識別の雰囲気の中で行われた。

ミッション・パートナーの集い 11月22日～23日 赤羽

共に働くミッションパートナーの集いが行われました。今年のテーマは「アシステンツァ～喜びと希望をもって～」。ドンボスコ100のことばから心に響いた箇所や事業体の分かち合いなど、終始和やかな雰囲気の中に行われました。シスターズを含めて全部で60名ほどの参加がありました。



JOY CAMP IN 山中 8月14日～16日



野尻湖から「Joy Camp」と名称を変えて召命司牧が行われました。遠く長崎、福岡からも参加者があり、スタッフを含めて約40名ほど。富士の聖母への巡礼、霊における会話、レクレーション、BBQなど盛りだくさんの集いでした。



FMA2025報告

SR.マリア トロンカッティ列聖
10月19日 於：バチカン



教皇レオ14世によって聖人にあげられました。FMAとして二人目の聖人となりました。列聖式にはSr.マリア・トロンカッティの取次ぎによって大ケガからの奇跡的な治癒の恵みを受けたシュワ・ボスコ氏も参加なさり、喜びと感動の式となりました。日本からCIAOの若者代表として藤村弥生さんも列聖式に参加することができました

総評議員SR.マリア アウジリア来日
10月23日～29日



ローマ本部社会広報担当総評議員のSr.マリア・アウジリアは、日本管区の社会広報エキープ集会をはじめ、各支部や事業所を訪問されました。26日には、日本管区本部においてSr.マリア・トロンカッティ列聖感謝ミサが、教皇大使フランシスコ・エスカランテ・モリーナ司式のもとで行われ、Sr.マリア・アウジリアも列聖式の感動を分かち合われました。



シュワ・ボスコ氏



聖年に頂いた
全ての恵みに感謝！

イエスのカリタス修道女会 2025 News

エミリアナ朴総長 公式訪問



5/29~6/6 国際養成者担当者会議



11/4~17 イタリア巡礼



12/8 終生誓願式 宮崎カリタスの園聖堂



8/11 パイプオルガンでの最後のミサ



8/28 管区本部解体工事の安全を願う祈り



9月～ 管区本部解体工事開始



プレゼビオ



サレジアニ・コオペラトリー日本管区活動報告 2025 年

中田神父様を管区デレゲートにお迎えして、2 年目に入りました。評議会の毎月の開催は難しい時もありましたが、1 月、3 月、4 月、5 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月に調布神学院・オンラインで行いました。3 月は中田神父様はイタリアからの会議出席でした。

4 月 29 日に総会を調布神学院で行いました。



各地区・支部で黙想会を 7 月から 9 月にかけて行いました。東京地区 7 月 13 日 阿部師 静岡支部 8 月 1 日 浦田師 九州地区 9 月 13 日～14 日 ロロピアナ師 大阪・四日市支部 9 月 23 日 吉田師
9 月 6 日～7 日 ヴォイタス師講演会
東京地区では、3 月 15 日 マルシリオ師による研修会 5 月 7 日と 7 月 13 日に中田師による静修が行われました。

夏休み中、有志が野尻湖、山中湖でのキャンプのお手伝い。教会以外の様々な機関のバザーに出店して収益を DBVG に寄付したり、ドン・ボスコ オラトリオを手伝ったりする会員もいます。

機関誌 Coops を年 2 回発行

オンラインによる EA0 地域の代表者会議が 6 月 29 日に行われました。2026 年サレジアニ・コオペラトリーの会は創立 150 周年を迎え、5 月 7 日から 10 日までローマで世界大会が開かれます。毎月 9 日に世界中から集まったニュースが届きます。日本からも総会のことを報告しました。

ADMA2025 年度活動報告

1. 現在の支部（拠点）数と会員数

日本の ADMA の拠点は、東京 ADMA、都築 ADMA、浜松 ADMA、Zoom ADMA の 4 か所。

東京 ADMA : 26 名、浜松 ADMA : 44 名、都築 ADMA : 8 名、Zoom ADMA : 12 名。合計約 90 名。

2. 2025 年度におけるアニメータ・アンヘル神父様の企画と ADMA の活動内容

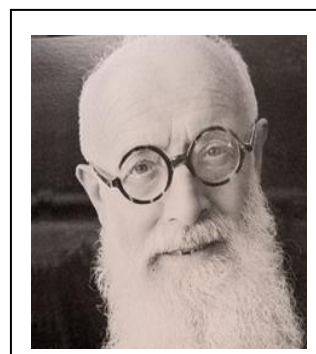
- i. 毎日夜 8 時に Zoom でロザリオの会を開催しており、ADMA 以外の信徒も含め約 100 名が参加している。

- ii. 2 か月に一度、関東圏の ADMA の会員全員が合同で参加する、ドン・ボスコの霊性を学ぶサレジオ霊性セミナーを開催している。

- iii. 5 月に、東京 ADMA のメンバーを中心に、マリオ司教様、濱崎管区長様をお迎えして、調布教会で初めて扶助者聖母行列を行った。



- iv. 今年は聖年にあたり、調布教会が巡礼教会となったが、来訪する巡礼団の世話係として、東京・都築・浜松の ADMA メンバーが役割を果たす機会となった。また、メンバーにチマッチ神父様の霊性を伝える役割を果たす機会となった。



- v. 年巡礼として、9 月に死別・離別・独身者のためのジュビリーが行われたが、ADMA メンバーが準備作業、世話係として大きくかかわった。

- vi. 特に調布教会で行われたブラジル青年団の巡礼、ミラグロスのお祭り、アパルシーダのお祭りにおいては、関東圏の外国籍 ADMA メンバーを中心に、ADMA 全員が、世話係として参加する体制を構築し、調布教会で無事開催できた。



- vii. 岡本神父様は、デレゲートとして、2 か月に 1 回程度、四谷の管区長館で、調布に来られない東京 ADMA 会員のために、ミサの司式と分かち合いの指導を行った。



- viii. アニメータであるアンヘル神父様のご指導により、隔月で ADMA 全員のメンバーが合同で調布に集まり、交流を深め、共に養成を受ける体制が実現したことによって、今までばらばらであった ADMA 養成の足並みがそろってきたと感じている。

以上



サレジオ同窓会日本連合

サレジオ同窓会日本連合は、
サレジオの日本・世界のネットワークを活かして、
母校ならびにサレジオの発展に寄与し、
在校生や若手同窓生に豊かな学び・交流の機会を提供し、
良き社会人として、若者と共に、社会・世界に貢献することを目指します。

1) ドン・ボスコと同窓会

1870 年（156 年前）、ドン・ボスコと共に働きたいと望む同窓生が同窓会を創設。世界連合は 1908 年に正式発足し、世界 130 以上の国に約 5 千校の学校と約 5 千か所の教会・福祉施設等があります。

2) サレジオ同窓会日本連合

日本連合は 2015 年に正式発足し、全国 5 校の同窓会で同窓生総数は約 5 万人です。

育英学院同窓会（町田）／日向学院同窓会（宮崎）／サレジオ小中同窓会（小平）

大阪星光学院同窓会（大阪）／サレジオ学院同窓会（横浜）

☆連合役員： 会長 1、副会長 2、理事 7、監事 2、顧問 2（計 14 名）

☆ワーキングチーム： 各種プロジェクトの実働部隊。幅広い年齢層でメンバー拡大をめざします。

3) 2025 年度 主な活動報告

6 月 29 日 日本連合役員会 杉並 SITEC で開催

- ・サレジオ会来日 100 周年に向けた同窓会連合としての各種プロジェクトについて検討しました。
- ・顧問の三島心神父による研修会（サレジオ会宣教師の日本への派遣のエピソード等）
- ・カトリック下井草教会見学。懇親会、各同窓会の近況報告。



7 月 サレジオ同窓会連合ウェブサイト内に「100 周年記念特設ページ」を開設

- ・サレジオ会来日 100 周年記念特設ページ <https://exdb.jp/sdbjapan100th/>
 - ① 日本でのサレジオの歩み・想い
 - ② 恩師との思い出エピソード募集
 - ③ サレジオ会の青少年支援活動のためご寄付のお願い〔返礼品付き〕呼びかけ
 - ④ 100 周年記念ミサ、フォトモザイクアートなど各種イベントの告知 ほか
- ・各同窓会のサイトや会報誌・チラシ配布等でも周知に努めています。



9 月 6 日 調布でマッティ資料館研修ツアー&バーベキュー交流会を開催

- ・サレジオ会来日 100 周年記念企画として、サレジオ神学院で、チマッティ資料館研修ツアーとバーベキュー交流会を開催し、同窓生とその家族 13 名が参加しました。
- ・顧問の三島神父様によるチマッティ神父とサレジオ会来日の歴史についての講話を聴いた後、チマッティ記念聖堂や資料館、調布教会を巡りながら、サレジオの日本での歩みに思いを馳せました。
- ・その後、敷地内で楽しいバーベキュー。食卓を囲みながら、よい交流の機会となりました。



アジアの同窓生との交流

- ・4 月、アジア・オセアニア地域青年部評議員 Niel Evangelista 氏来日。ワーキングチームと交流、大阪・関西万博もアテンドして満喫いただきました。
- ・5 月、香港同窓会連合副会長 John Chan 氏来日。小平のサレジオ小学校中学校、東京サレジオ学園、調布サレジオ神学院を視察。Chan 氏は香港と日本の青少年の国際交流支援に取り組んでいます。

東ティモールとの交流

- ・30 年以上前に育英高専（現サレジオ高専）のスロイテル神父が育英海外ボランティアとして学生を現地に引率・派遣したことをきっかけに、学生当時に参加した同窓生が現地の人びと・子どもたちと交流しながら、長年にわたり支援を続けています。同窓会連合への寄付返礼品として一般社団法人 VIVATIM の東ティモールのコーヒーや伝統織物の手芸品を利用することが、東ティモールのサレジオの子どもたちとの交流・支援につながります。



4) 2026 年度の予定

- ・サレジオ会来日 100 周年と同窓会活性化に向けて、継続的に取り組みます。
- ・2026 年 アジア・オセアニア地域大会 開催予定（開催地未定）。



活動の概要

「ウニオーネ本部」は同窓生世界連合 (*Confederazione Mondiale Mornese, Exallieve e Exallievi delle FMA*) の 1 管区として共に活動しています。日本国内の 8 支部の要望をくみ上げ、支部同士の連携を図る役割を持っています。役員 4 名、顧問 2 名、監査役 1 名、FMA のデレガータ 1 名という体制は昨年と変わらず、必要に応じて協力者の力を借ります。同窓生の基本姿勢である「モルネーゼスタイルのサレジオ精神」を深めることを目標に機関誌を発行し、研修会、支部訪問を実施しています。

2025 年は 5 月に世界連合本部が聖年巡礼の国際大会を企画、開催しましたが、期日と経費などの問題で日本から参加者がなかったことは残念なことでした。

現在は赤羽の学園工場の影響で専用の部屋がなく、集会や活動に不自由さがあります。郵便物は届いてもなかなか見る機会がないので回答が必要な物は遅れて多方面にご迷惑をかけています。できるだけメールでのご連絡をお願いいたします。(mail-unione@unionehonbu.com)

2025 年度主な活動

● 4 月 27 日 ウニオーネ本部 2025 年度総会開催



FMA のサレジオ家族担当 Sr.川下臨席の下、各支部会長と役員代表、デレガータ、本部役員約 40 名が出席して星美学園短期大学にて開催されました。サレジオ会濱崎管区長様によるミサに続き、活動報告、会計報告、予算案の承認などの議事。その後、会報誌の印刷と郵送の経済的負担やウェブ掲載上の問題点、ウニオーネ紹介のビデオ作成について検討しました。



● 5 月中旬 ウニオーネ誌 93 号発行

年 1 回発行するウニオーネ本部の機関誌「UNIONE」は発行部数 21,000 部、各支部を通して全同窓生に送付します。郵送料の負担が大きく支部会計を圧迫するという意見もありますが、同窓会員相互の連帯と養成を図るための重要なツールとしてしばらくは印刷物で継続し、本部ホームページ上にもウェブ版を掲載します。毎号表紙にストレンナの標語と解説を掲載し、記事もストレンナの意向に沿って編集しています。93 号はストレンナ並びに聖年の意向である「希望」をテーマに編集しました。同窓生世界連合からのメッセージ、サレジオ家族のニュース、各支部の便りを掲載して互いの連帯に配慮しています。

● 10 月 26 日 Sr.トロンカッティ列聖感謝ミサ

調布の FMA 本部聖堂にて開催された列聖感謝のミサに代表 3 名が参加、FMA とサレジオ家族の皆様と共にお祝いをしました。

● 12 月 19 日・20 日 支部訪問

役員 4 名とデレガータが明星支部(別府)と、小百合支部(大分)を訪問しました。遠隔地の同窓生は東京での集会に参加することが難しいので、訪問して普段は会えない同窓生と交流でき、有意義な時を持つことができました。



VDB（ドン・ボスコ女子在俗会）

2026年1月8日

● VDB の召命のアイデンティティ

サレジオの霊性で、個々の会員が置かれた場で、『地の塩・世の光』として、イエスの愛の生きた証人（聖別・奉献者）として生きること。

※会員は、活動の場において、**聖別・奉献者の身分を周囲に明かさないうちに留める**

（リザーブ） ことが、本会の会憲に規定されている。

● 日本における VDB 会員の働き

1. 仕事：青少年の健康の安全と心の不安に対応すること尽くしてあたっている。
2. 地域社会：見捨てられかけた人々に注意を払い、寄り添うようにしている。
3. 教会：教皇のご意向に従い、教会共同体の個々の霊的なケアに心を砕いている。
4. 姉妹間：互いに祈り合い、姉妹が困っている時には出来る限りのことをしている。
5. サレジオ家族：情報を直ちに共有し、祈りのうちに一致するように心がけている。

● ニュース

- ・2025年8月に、黙想会を東京にて実施した。
- ・2025年8月に、総会（Assemblea Generale 9）が開催された。
- ・2026年8月は、CIG管区（香港・マカオ・日本）合同の黙想会を香港にて実施する予定。

会員数：およそ1,300人（日本：3人）／**アシステンテ：**阿部仲麻呂師

1. サレジオ会来日 100 周年に向けて

- (ア) 来日 100 周年オープニング（2 月）
- (イ) 3 修道会合同黙想会、Vojtas 師講演会（9 月）
- (ウ) チマッティ・デー&宣教の日（宣教師派遣 150 周年）



2. 日本管区として

- (ア) 第 29 回総会（2 月～4 月）→ファビオ・アッタールド総長選出！
- (イ) 臨時管区会議（11 月）
- (ウ) 養成

- ① 堤神学生終生誓願式（2 月）
- ② Abuto 神学生助祭叙階式（5 月）
- ③ 土橋さん、フィリピンで修練期開始（6 月）
- ④ 荒川神学生帰天（8 月 3 日）
- ⑤ 日韓若手会員交流（12 月）



(エ) 青少年司牧（いくつか）

- ① SYM 大分徒歩巡礼
- ② DBVG ベトナム派遣
- ③ ボスコ・キャンプ 2025
- ④ サレジオ家族学校中高生の集い
- ⑤ 若者によるドン・ボスコのお祝い



3. 事業所関連

- (ア) 東京サレジオ学園、園舎改築進む
- (イ) 日向学院中学校・高等学校合唱部が全国大会に初出場
など



